



園田中だより

さとく・
うつくしく・
たくましく

No. 3

尼崎市立園田中学校
TEL 06-6491-0775
令和元年5月28日
(文責 澤嶋 伸)

園田中学校ホームページ : <http://www.ama-net.ed.jp/school/j20/>

時を守り、 場を清め、 礼を正す



朝礼で皆さんに話した内容です。

「時を守り」とは、時間を守ること。「場を清め」とは、掃除をすること。「礼を正す」とは、あいさつをすること、返事をする事です。みなさんは、遅刻せずに、毎日掃除に取り組み、朝から「おはようございます」とあいさつもできています。ちゃんとできていないんじゃないか、と思った人もいるでしょう。今一度、この言葉の意味を考えてみましょう。

「時を守り」：時間を守るとは、相手を尊重することであり、それによって自分自身の信用を積み重ねていくこととなります。まず、予定の開始5分前には姿勢を正し、心を静め、開始を待つことを心がけましょう。今すぐできることです。

「場を清め」：掃除をていねいにするには、自分の心を磨くことです。磨けば磨くほど「周囲に気づく」「謙虚になれる」「感動の心を持つ」そして、「感謝の気持ちを持つ」人になります。まず、足元のごみを拾うことから始めましょう。一つ拾えば一つだけ心もきれいになります。今すぐできることです。

「礼を正す」：あいさつをするということは、心を開いて相手に迫ることです。あいさつすることで人間関係がよくなっていきます。返事も同じです。呼ばれたら大きな声で「ハイ！」と返事をする。呼ばれても返事をしなければどうなるでしょうか。きっと人間関係が悪くなっていきます。3年生には、修学旅行の始めに「心も体も相手の方を向くことが大切だ」という話をしたのを覚えていますか。ぜひ、元気に、笑顔で挨拶や返事をするを心がけてください。今すぐできることです。

つまり、「時を守り、場を清め、礼を正す」とは、単に遅刻しないとか、清潔にすることだけではなく、人を大切に、自分を高め、関係をよくしていくことなのです。

昨日、みなさんは、どのような気持ちで清掃したのでしょうか。自分の心と向き合い、一心に磨くことができたのでしょうか。何事も、言われるからするのではなく、そこにある真の意味を考え、自ら動くことが大切です。

園田中学校の生徒全員が、自覚と誇りを持ってこの三つを実践することで、集団としての力を高められることを期待しています。

園中学力向上 への取り組み

【本年度の方針】学習規律を守り、落ち着いて学習し、「課題の発見・解決に向けた主体的・協同的な学び」の実践を通じて、全職員が協力して学力向上を目指します。

【学習意欲の向上】(教師の取組み) (わかる授業、振り返る授業)

- ① 授業の最初に目標を提示し明確化する。
- ② 小中学校職員合同研修を実施する。
- ③ 授業見学週間を設定する。
- ④ 研究授業を実施する。
- ⑤ 職員の先進校視察を実施する。
- ⑥ ステップアップ調査を活用する。

【新学習システムの充実】

- ・少人数学習を2・3年数学・3年英語で実施する。

【授業規律の確立】(生徒への意識付け)

- ・チャイム3分前音楽で授業準備
- ・忘れ物0
- ・授業態度
- ・宿題、提出物

【放課後学習の活用】

- ・土曜と放課後のチャレンジ学習を活用する。

【家庭学習の定着】

- ・週に7時間以上の家庭学習をする生徒の割合を増やす。

【朝学習・朝読書の充実】

- ・1日の授業に落ち着いて取り組めるよう、朝の15分間程度静かに読書や学習を行う。



すごいぞ!園中!

女子テニス部

- ・市民スポーツ際 学校対抗戦 第3位
- ・第27回阪神中学校ソフトテニス選手権大会 第3位 東 瑞樹 坂田 桜 組

柔道部

- 第28回大阪中学生柔道大会 団体 第3位
- 個人 90kg級準優勝 山下 修輝
- 90kg越級第3位 前田 大輝

ザンビア共和国視察団

5月16日(木)

昨年に引き続き、アフリカのザンビア共和国から視察団が来校しました。生活習慣病予防に関する授業「正しい食生活」をテーマにした家庭科の授業を参観し、生徒と一緒に野菜を試食しました。学校と行政(市や国)が協力して生徒への授業を行うスタイルが今のザンビアに必要な状況だそうです。昨年の授業を参考に国のプロジェクトが始動しかけているそうです。

お別れの際、視察団の方々より、「生徒のみなさんから最高のおもてなしを受けて日本滞在中で一番の思い出になった」と感謝の言葉をいただきました。突然の教室訪問にもかかわらず温かく迎え入れてくれたみなさん、ご協力ありがとうございました。

